

お知らせ

○5月18日(日) 定例活動日はマダケ林植生保護柵、ヤマユリ保護柵、ツチアケビほか稀少種の保護、食害調査、シイタケ本伏せなど多忙です。多くの会員の参加が期待されます。9時30分第二駐車場集合。日本熊森協会メンバーの来訪もあります。

活動の記録

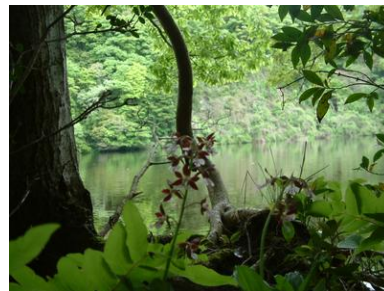
5月5日(月曜日)曇 臨時活動日植物観察

「森の様子が劇的に変化するこの時期を見逃す手はない」との大賀さんのアドバイスで、連休中の臨時植物調査を行った。すっかり新緑に包まれた森では、多くの植物の開花を見ることが出来たが、特に印象的なのはラン類である。変化に富んだエビネの花の美しさや、キンラン、ギンラン、ササバギンラン、サイハイラン、コクラン、クロムヨウランなどさまざまなラン類に出会うたびに声が上がった。



高橋さん、ゲストの今井さん、小平、福島、伊藤、真鍋、大賀先生

○エビネは花盛り！巨木林もホテイ岬水辺もスタジイ林もエビネの花盛り。色も色々、濃いピンク、薄いピンク、淡いグリーン、黄色っぽい色と色とりどり。「これが同じ種？」「環境の違い？」「遺伝子の違い？」。ホテイ岬のコケの絨毯に鎮座するエビネの風情を不参加の会員にお伝え出来ないのが残念。



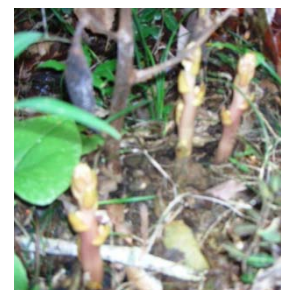
ホテイ岬水辺にヒソソりとエビネ



スタジイ林の淡い黄色のエビネ

○クロムヨウランの群落発見！全員でスタジイ林の斜面を踏査中、今井さんがクロムヨウランの株を発見、辺り一面に小さい株多数。06年4月23日高塚さんが豊英島内で1株発見・撮影以来所在不明となり2年ぶりの発見。クロムヨウランは腐生植物の一種で葉も葉緑素もなく自ら光合成せず、キノコのように菌根菌に依存する特異な植物で、近年森林環境の変化に伴い絶滅が危惧されている植物、千葉県では「B:重要保護植物」に指定。夏の開花期にご期待下さい。

○ツチアケビ蘇生！昨年実1個を残しシカに食べられ、死滅が懸念されていたツチアケビ(吊り橋側2号)が生き返り保護金網内に3株、金網外に1株芽を出しました。今年は早めに保護し、ソーセイジ状の沢山の実を観察したい。



○ギンラン、キンラン、サイハイランも；減少が懸念されていたギンランはホテイ岬やスタジイ林に小さいつぼみを沢山覗かせていました。キンランもサイハイランもホテイ岬などに確認され、この森が貴重な植物の宝庫であることを再認識。



ホテイ岬やスタジイ林にキクラゲが沢山見つかリ、木登り上手な高橋さんが沢山採取して、皆お土産に持ち帰り、その食感を美味しく味わいました。この日は発見多く感動の連続でした。昼食時の会話も弾みました。渋滞を通り抜けご参加の大賀先生、久しぶりご参加の小平様有難うございました。初のゲスト参加で多くの稀少種を発見くださった今井さんの慧眼に感服、是非またご参加ください。

訂正とお詫び：千年の森便り58号誌2頁植物調査の記事中「コスミレ？」は「フモトスミレ」の誤りです。訂正してお詫びします。